

第10回 MAJESTy セミナー「科学リテラシーと人間の科学」

現代社会では環境・命・病・食・心の問題など、生物・生命科学についての適切な知識と認識 — 科学リテラシーが重要である。このセミナーでは、生物学系とりわけ「人間を対象とした科学」の特殊性と、科学者のこの領域におけるリテラシーの歴史および現状に焦点をあて、科学を営み・伝えることの難しさについて考えたい。また、「とんでも科学記者」との遭遇例もいくつか紹介し、科学者とジャーナリストに望まれる基本姿勢や良識について問う。

講演者: 内田亮子 (早稲田大学国際教養学部 教授)

東京大学理学部卒業、同大学院理学系研究科修士課程修了、ハーバード大学大学院(GSAS) Ph.D.課程修了。京都大学霊長類研究所助手、千葉大学文学部助教授を経て、2004年から現職。

専門: 生物人類学

主な論文・著書: What we don't know about great ape variation, *Trends in Ecology & Evolution*, vol.11, (4), 163-168.; 「人類はどのように進化したか—生物人類学の現在」勁草書房

日時: 2008年1月12日(土)14:00 ~

なお、当日は 13:15 ~ 13:45

セミナーと同じ場所で MAJESTy2008 年度(第二期募集)入試説明会を開催します

場所: 早稲田大学 西早稲田キャンパス 1号館 4階 401 [【地図】](#)

対象: 特に限定せず

費用: 無料

事前登録: 必要